

# 鷹取山自然観察会会報

2014.12.7 No.6

## 鷹取山植物相調査について

### —中間報告—

鷹取山の植生は三浦半島の北部に位置して海岸に近いこと、地域的に暖温帯に属していることからシイ、カシ、タブなど常緑広葉樹の照葉樹林が優先的に広く分布している。その他、落葉樹であるコナラ、クヌギ、イヌシデ、イタヤカエデ、オオシマザクラなども二次林として多く見られる。林床には低木や様々な草本類が季節によって花を咲かせている。

鷹取山自然観察会では、鷹取山周辺の植物相の実態を知るため鷹取山公園を中心に2013年11月から植物相調査を実施することとした。

#### 1. 調査方法

環境省自然環境局及び日本自然保護協会における「モニタリングサイト1000里地調査マニュアル」に準じて行った。調査マニュアルでは、木本及びシダ類、イネ科、カヤツリグサ科は除いてもよいとなっているが、ここでは植物の同定等の勉強もかねて維管束植物のすべてについて調査することとした。調査は図1の調査ルートを植生の違う6区間に分け調査した。各区間の植生の特徴は図1に記載したとおりである。種名は木本類、草本類に分け全員で確認の上記載することとした。記載の

図1 植物相調査の調査地域及び区間



方法は、原則として蕾、花、実の状態を記載した。種が不明なものについては標本を採取し後日博物館で同定・確認した。

## 2. 調査結果

今回の調査では512種の植物種が確認された。分類群別では、木本54科152種、草本52科322種、シダ植物38種であった。

調査範囲には、カラスザンショウ、アカメガシワ、コナラ、クヌギ、オオシマザクラ、ミズキ、イヌシデなど広葉樹林が普通にみられ、場所によりケヤキやムクノキ等もみられた。常緑樹ではスダジイ、タブノキ、アカガシ、ウラジロガシ等がみられ、E区間の逗子沼間ではスギの植林地があり、自然環境保全地域に指定されている。林内には、シロダモ、アオキ、ヤツデ等の常緑樹や、低木としてムラサキシキブ、カマツカ、ガマズミ、マルバウツギ、ツクバネウツギなどの落葉樹も普通に見られた。林縁にはイネ科、カヤツリグサ科が年間を通じて見られるほか、林床にはヤブラン、ジャノヒゲ等の耐陰性の草本がみられた。この他、林道沿いや林縁などでは、ツクバトリカブト、ホタルカズラ、ヒメウス、ノコンギク等明るい林内に生育する種も多くみられた。調査範囲には畑や住宅地、公園もあり、人工的な環境では、路傍の草本類などを中心としてアブラナ科、キク科、アカバナ科、イネ科などの外来種が多く確認された。

## 3. 帰化植物

調査区間の自然度を見るため草本類につい

て帰化植物と在来種の分布割合を調べた。帰化植物とは、外国原産の植物で、牧草用や鑑賞用として輸入されたものが野生化して各地に広まっていった植物である。一方、日本に古来から生育している種は在来種といわれている。都市化されてくると帰化植物が入り込み在来種の生息域を狭めてくることが知られている。今回、区間ごとの帰化率は図2のとおりであり、調査区間の特徴を見ることができた。B区間は住宅地の道沿いと広場などであり、帰化率が高くなっていた。一方、D、E区間は在来種の割合が高く、帰化植物が少なくなっていた。A区間は鷹取山公園内であり、人の出入りも多く、開けた草地があるためイネ科、キク科等の帰化植物が多かった。

帰化率(%) = (帰化植物の種数 / 出現した全植物の種数) × 100とする。

## 4. その他

三浦半島における植物相調査は、神奈川県植物誌会や県、市の植物相調査があるが鷹取山周辺について通年の調査などは行われていない。鷹取山自然観察会では、生き物調査として昨年から1年間の植物相調査を行ってきた。会員には植物観察を長年行っている方も多くいるがあくまでアマチュアの調査であり、同定に間違いがあるかもしれないが、継続することで精度が上がっていくと思っている。

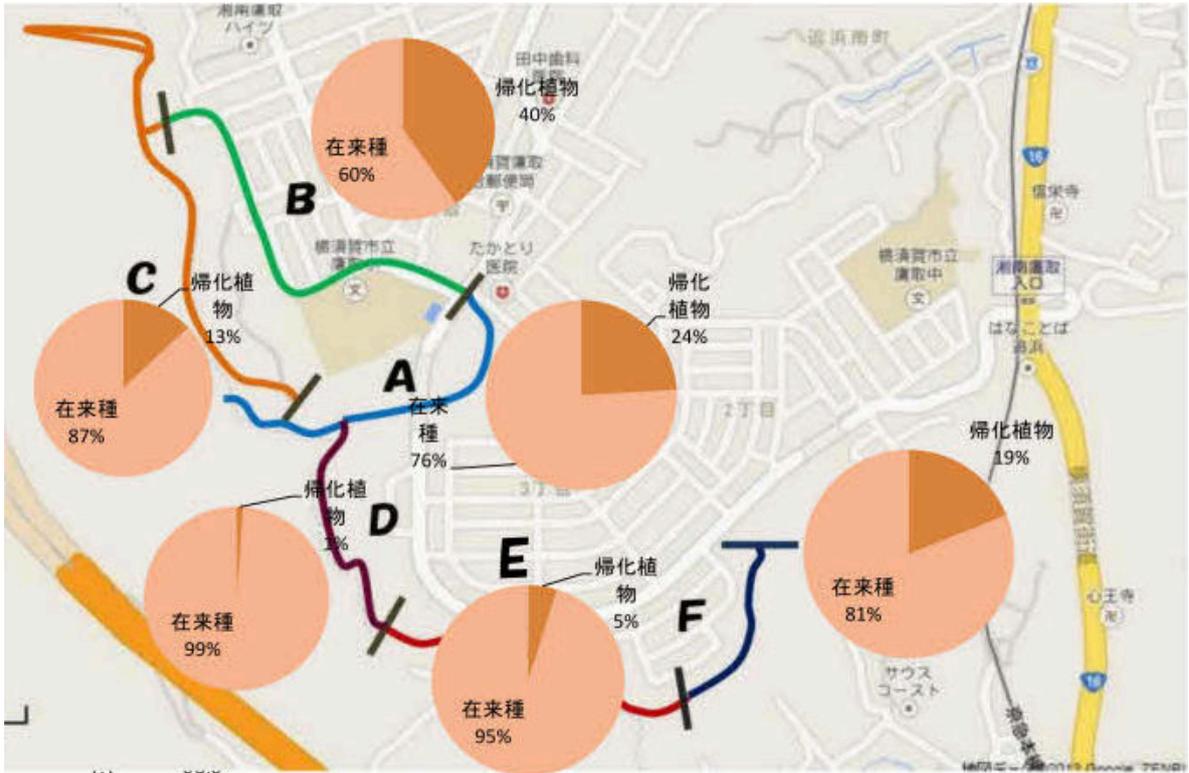
調査には横須賀市自然・人文博物館の大森雄治学芸員に一度指導していただいた。また、シダ類については大前悦宏氏に研修を兼

表1 区間ごとに観察した種の数

区分	A区間	B区間	C区間	D区間	E区間	F区間	その他	合計
草本類	195	102	139	90	83	74	13	322
木本類	100	25	72	62	58	44	3	152
シダ類	18	11	14	19	3	10	-	38
合計	313	138	225	171	144	128	16	512

注) 合計は、全区間の種の合計です

図2 帰化率



ねたシダ観察会の講師を2度お願いした。両氏には快く指導していただいたことを感謝します。

別表に草本、木本、シダ類と確認した種を掲載したが植物の分類はエングラー分類体系を使用した。

当会では、今後も植物相調査を行っていく予定である。観察することにより、絶滅していく種やこの地域で新たに見つかる種もあるかもしれない。調査することは楽しみでもあり、続けることでこの地域の植物相がはっきりしてくると思う。



写真上 植物相調査会 写真下 シダ観察会



調査に参加した人（鷹取山自然観察会）  
 本多久男、中村紀雄、高橋和子、高橋 毅一郎、尾川雅人、尾川省子、島村健二、田中順子、市川寛、関幸恵、大脇靖子、小池順子、板垣加代子、渡邊眞章、林誠一郎、大内洋子、石垣正博、田宮絢子（順不同、敬称略）

## 平成26年度後半の行事予定

### 自然観察会

観察会は原則として第2日曜日に行います。雨天の場合の水曜日に順延します、更に金曜日に順延します。

日付	活動内容	集合場所等
12月14日	追浜駅 9時30分集合	観察会は12時まで 追浜駅集合の場合は10時頃西友湘南鷹取店前を通過します。 小雨程度は決行。大雨の場合は順延 費用：保険代、資料代100円
1月11日	追浜駅 9時30分集合	
2月8日	京急田浦駅9時30分集合	
3月8日	追浜駅9時30分集合	

### 植物相調査

調査は原則として第4金曜日に行います。雨天の場合の日曜日に順延、更に水曜日に順延します。

環境省自然環境局及び日本自然保護協会における「モニタリングサイト1000里地調査マニュアル」植物相調査に準じて行います。維管束植物について調査します。

日付	活動内容	集合場所等
12月26日	植物相調査	集合時間等：10時～15時頃、 集合場所：鷹取山公園東屋
1月23日	植物相調査	
2月27日	植物相調査	
3月27日	植物相調査	

### 野鳥調査

調査は原則として第1金曜日に行います。雨天の場合は翌週の日曜日に順延、更に水曜日に順延します。

環境省自然環境局及び日本自然保護協会における「モニタリングサイト1000里地調査マニュアル」野鳥調査に準じて行います。

日付	活動内容	集合場所等
12月5日	野鳥調査	集合時間：10時～12時頃、 集合場所：鷹取山公園東屋
1月9日	野鳥調査	
2月6日	野鳥調査	
3月6日	野鳥調査	